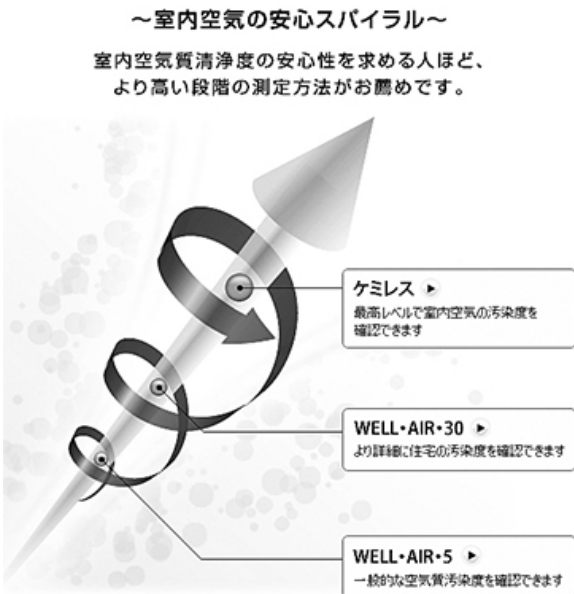


# 住まいと暮らし 特集

# 健康住宅は性能の可視化から

図③ 室内空気質配慮住宅認証の概要

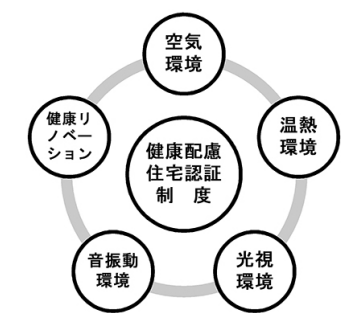


03年の改正建築基準法と、02年にカルテや診療報酬明細書に記載する為の病名リスト(標準病名マスター)に登録された事で、シックハウス問題は解決したと思われている人や業者は少なくない。しかし、アレルギーコップ理論などから、推定される化学物質の体内蓄積量が問題ならば、これからの配慮は続けなければならぬというのが、協会の見解である。そこで室内空気質の認証制度は3タイプ(図③)を用意している。

品確法住宅性能表示制度の第6項(2)に該当する主要5物質の分析を「Well・Air・5」。協会独自基準で住宅の中に見られる30種の化学物質の総量にウェイトを置いた「Well・Air・30」。千葉大が中心となって生涯安心できる室内化学物質放散壁面等の周囲温度を測定する。

## 続けなければならぬ配慮

図① 5つの認証制度概念図



健康住宅の捉え方は住宅メーカーや地場ビルダーにより様々である。これらの点が住まい手にも影響を及ぼし、肝心な住宅選びの過程で迷いが生じる原因ともなっていた。発足から29年目を迎えるNPO法人日本健康住宅協会では、健康に住み続けることができる「性能」や「設備」を備え、住む人が健やかな住まい方をしている住宅を「健康住宅」と定義。次世代省エネ基準に適合する建物の高性能化に対し、在来你的生活スタイル依

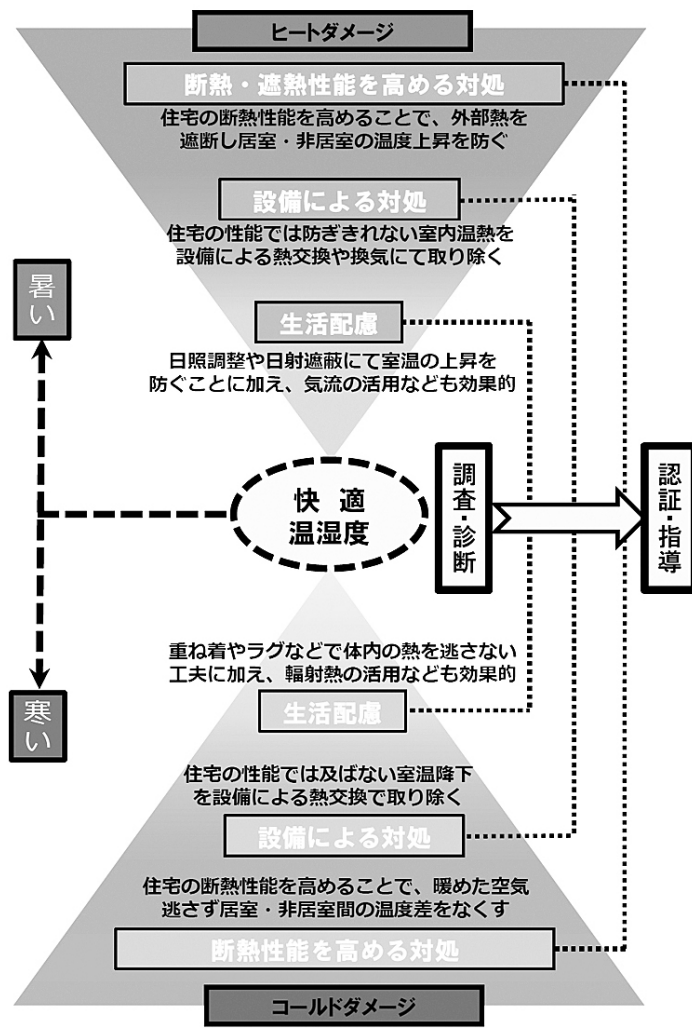
健康住宅の捉え方は住宅メーカーや地場ビルダーにより様々である。これらの点が住まい手にも影響を及ぼし、肝心な住宅選びの過程で迷いが生じる原因ともなっていた。発足から29年目を迎えるNPO法人日本健康住宅協会では、健康に住み続けることができる「性能」や「設備」を備え、住む人が健やかな住まい方をしている住宅を「健康住宅」と定義。次世代省エネ基準に適合する建物の高性能化に対し、在来你的生活スタイル依

## 住まい手目線の個別認証

健康配慮住宅認証制度はいわゆる材料やモデル住宅の試験や確認などで一律的に与えられる「型式認証」でなく、個別邸名毎に審査、測定された結果を評価する「個別認証」としている。

健康配慮住宅認証制度はいわゆる材料やモデル住宅の試験や確認などで一律的に与えられる「型式認証」でなく、個別邸名毎に審査、測定された結果を評価する「個別認証」としている。

図④ 温熱環境配慮住宅認証の概念図



平均放射温度(MRT)や作用温度(OT)に換算して評価する独自の制度で、空調機器の適性についても評価される(図④)。

また、厳寒に加え酷暑も意識の評価を行う。ダメージを和らげる暮らし方を配慮事項説明書で解説するなど、快適性のみでなく健康性も意識した居住空間に慎重を規している。

## リフォーム後の相談が断トツ

単なる営繕でなく設備や性能を向上させるのがリノベーションならば、健康面の配慮を加えたものが健康リノベーションとなる。協会内に設けている健康住宅相談コーナーに寄せられる相談も、実はこのリフォーム後における相談が断トツに多い。そこで「寒くない」「臭わない」「籠らない」リフォームをコンセプトに内容がまとめられている。特にリフォームの検討時より、住まい手の健康ニーズに答えるアンケートやツールも

用いられおり、折角のリフォーム時に健康配慮へと気付きが得られる仕組みとした。住宅と健康は切っても切れない関係であり、住宅の性能の良し悪しで、これからの健康が決まると言っても過言ではない。大手住宅メーカーであれば十分な性能を備えていると思われるが、この認証制度の活用により、地元ビルダーでも住環境向上に工夫を凝らし、大手住宅メーカーと同等な性能を有していることを証明できる。

一方、住宅性能が良くて住まい手の受け止め方が違っていては健康的な生活とはならない。この認証制度は、施工者と住まい手の双方が健康について、真剣に向き合えるように、様々な側面から考えられている。認証制度普及によって施工者の意識、住まい手の意識、社会の意識がより良い方向に向かっていくことが望まれる。

表① 5つの書面の内容

認証書面名	記載内容や概要
① 配慮住宅認定証	認証に該当する法律や基準をベースとして、認定された根拠を掲載。個別邸名や管理番号などで保管。
② 診断所見書	認証種別毎の分析結果や評価結果に基づき、住性能が住環境に影響している状況や所見として記載。
③ KJK仕様確認書(室内空気採取誓約書)	認証の為の環境測定時に測定結果に影響した点の有無などを記載。(室内空気なら採取時)
④ KJK評価書(分析結果報告書)	測定された結果が住環境に及ぼす影響を評価。(室内空気は協会指定分析機関での精密(HPLC)法による分析結果)。
⑤ 配慮事項説明書	間取りや住まい方及び測定データなどから、注意した方が良い生活や住まい方を習得。

図② 認証制度の流れ

